

活動報告

○宿泊通学

氷川町の竜北西部小学校・竜北東小学校・宮原小学校の6年生の児童が、立神峡里地公園にある里地屋敷にてクラスごとに2泊3日の宿泊通学を行いました。

里地屋敷の生活では、薪を使った調理を行います。ナタで薪をわって火をおこし、ご飯を炊き、お風呂も薪で沸かす五右衛門風呂です。みんな、初めての体験が多く「薪割りが楽しかった～」と言う感想もあれば、玉ねぎや、煙で「目が痛い～」と言っている子もいました。食事もおいしく、お風呂もみんなで入れてとっても楽しかったです。協力し合い、昔ながらの里山での暮らしを堪能して通学して行く子どもたちを見送る事ができました。



▲狙いを定めて!!



▲自分たちで作るととても美味しい



▲おやすみなさい



参加者募集

ペルセウス座流星群観測会

日時 8月12日(木) 21時から22時

場所 立神峡公園管理棟横芝生広場

内容

夜空に吸い込まれるように消えていく流星。数ある流星群の中でも、最も華やかに出現するペルセウス座流星群をみんなで楽しみましょう。

参加費 無料



ふくろう館

夏休み期間はふくろう館をぜひご利用下さい。えほんコーナーや木のおもちゃを準備しております。イベントは随時行なっております。

- ・木を使った押しピン作り
- ・木を使ったクリップ作り
- ・竹を使った水鉄砲作り 等

森のようちえん全国巡回写真展

森のようちえん全国巡回写真展が立神峡里地公園にやってきます。日本全国での森のようちえんの活動風景や子どもたちの笑顔がとても素敵です。子どもたちの楽しそうな笑顔に会いに来ませんか?

期間は8月10日(火)から31日(土)までの3週間、立神峡里地公園内の研修室にて行います。のんびりと写真を眺めながらくつろげる喫茶コーナーもオープンします。写真展は入場無料となっておりますので、気軽にお立ち寄りください。

森のようちえん「りとり」では、幼児期の自然体験活動を行っております。未就学のお子様と保護者の方を対象に、8月21日(土)にミニ体験会&説明会を開催します。

時間は、10時から1時間半程度を予定しております。詳しくは立神峡公園管理棟までお問い合わせください。

お問い合わせ先 立神峡公園管理組合 担当：幸山 ☎0965-62-1543

町民文芸

短歌

- 野草なる一人静の苗求め
二つの鉢に分けて植えたり
上高塚 桑原ゆき代
- 濁り水溢る、川を眺めつ、
昨日の魚の居場所を思ふ
吉本 高橋 澄子
- 旅立ちの燕親子の別れ際
無事であれよと祈りて送る
西野津 古崎スエノ
- 庭に粟撒き始めより寄り付きし
小雀無事に成長をせり
吉本 橋村 正之
- 消されゆく地球の森がはてしなき
宇宙の目にわ哀感さえも
町 福田 一郎
- 青春の夢を浮かべし荒瀬ダム
幻の湖と成り果つるかな
西上宮 村内 一誠
- 午睡の夢みし亡父はまだ青年
何を語るか白髪の亡母と
南鹿野 尾崎 京子
- 医師会病院窓辺に浮ぶ外観きれい
医療介護に感謝しつつ、に
早尾 橋本ヨシエ

俳句

- 雨上りの濁りににぐる川の面を
すれすれに飛ぶ燕よつばめ
新村 濱田たみよ
- 熊本市駅周辺大変貌
新幹線にて時間は縮む
下高塚 竹中 力
- ジウイスを一気にのめば初夏が
さつとのおともと通りすぎゆく
西野津 古崎 栄子
- 方円の姿よろしき水なれど
その源へ還ることなし
桜ヶ丘 宮崎敬四郎
- 夏帽子友らと選りゴルフ用
上高塚 桑原ゆき代
- 遠雷や佛音をきく父と母
町 香山菊童子
- 佛花替えて我心の気持良き
南鹿野 尾崎 京子
- 滴りの絵柄Tシャツ似合ふ人
吉本 高橋 澄子
- 五十鈴川手洗う女の夏帽子
西野津 古崎スエノ
- 万生の命の山河青々と
町 福田 一郎
- キリンタン殉教の地に枇杷熟るる
西上宮 村内 一誠
- 大根の青葉刻みてゲゲ女房
南鹿野 尾崎 京子

- 涼しさよ銀河の岸のベンチかな
下高塚 竹中 力
- 夏空の少し遊ぶ流れ雲
西野津 古崎 栄子
- 天命は識るよしもなし冷し酒
桜ヶ丘 宮崎敬四郎
- 四方照らす青田の匂い去りがたし
桜ヶ丘 吉田 照子
- 暴れ梅雨天地鳴動救いなし
町 田中 澄子
- 朝日さす童子の声や白木槿
桜ヶ丘 宮崎トシ子
- ミツちゃん
吉本 橋村 正之
- ミチコはきつとトシちゃんの
お嫁になるんだ約束よ
指切りゲンマンさせられた
あの目をふつと思ひ出す
- 小学校に上がる前
お家の都合でお引越し
姿が消えてそれっきり
風の噂も聞かれぬ
- ミツちゃん今はどうしてる
きつと素敵な奥様で
優しいママをしてるかな
思い浮かべるその姿
- ミチコはきつとトシちゃんの
お嫁になるんだあの声も
遠い記憶の霧の中
もうあの頃に戻れない

氷川町炭鉾節

立神 宮崎 濱子

- 一、氷川町は甘い町 ヨイヨイ
ナシにブドウにバンペーユ
モモに野菜の道の駅
竜北公園で
ニギリメシ サノヨイヨイ
- 二、一ト山二山三山越えヨイヨイ
荒尾万田より 八十km
離れた八代氷川町へ
移り住んでから
五十七年 サノヨイヨイ
- 三、毎年毎年七月にヨイヨイ
昭和二十年の 大空襲
母校の第三校も丸焼で
おもい出すのが
辛すぎる サノヨイヨイ
- 四、主人の介護が十五年ヨイヨイ
娘看護師と 語り合い
七十七年の思いでを
泣いたり笑ったり
指導されながら サノヨイヨイ
- 五、どうせ一度の命ならヨイヨイ
辛い山越え 谷越えて
孫や娘にかこまれて
いつもニコニコ
よか人生 サノヨイヨイ

